

キャリアサポーター通信

Vol.2



福島県委託「ふくしまの大学生等県内定着促進事業」

発行 2021.3

発行元 ACF キャリアサポーター制度運営事務局

加盟機関の取り組み

桜の聖母短期大学

1年生とキャリアサポーターとのトークセッション

県内企業への理解を深めるとともに、キャリアサポーターの方がどのような「キャリア形成」をしてきたのかを知ることを目的に、インタビュー形式でのトークセッションを開催しました。

学生から積極的に質問するなど、意欲的に参加する姿が見られ、参加いただいたキャリアサポーターからは、「少人数で様々な質問が飛び交い、やりやすかった。次回もぜひ参加したい」とのお声もいただきました。



【日 時】

令和2年12月1日(火) / 15日(火) / 22日(火)

【参加学生】

キャリア教養学科1年生 約40名

【参加キャリアサポーター】

こころネット 株式会社	青 木 様
株式会社 羅羅屋	高 橋 様
株式会社 福島キャリアナビ	渡 辺 様
ソニー生命保険 株式会社	金 澤 様
富士ゼロックス福島 株式会社	伊 藤 様
	渡 辺 様
株式会社 エイジェック	菅 野 様
北部通信工業 株式会社	二階堂 様
農林中央金庫福島支店	石 塚 様
トヨタモビリティパーツ 株式会社	樽 川 様

【インタビューのポイント】

- ・働くうえで必要な心構えは
- ・ワークライフバランスをどう考えるか
- ・企業でどのような人材を求めているか
- ・やりがいを感じるのとはどのような時か

ACF キャリアサポーター制度運営事務局

令和2年度キャリアサポーター交流会(オンライン) ～イノベーション人材の育成とキャリア支援～

キャリアサポーター交流会は、キャリアサポーター制度のさらなる活性化を図ることを目的として、毎年1回開催しています。

今年度の交流会では、キャリアサポーター制度の近況報告を行った後、福島大学 経済経営学類の岩井教授を講師に招き、「イノベーションを主導する人材とキャリア支援」をテーマに講義やグループディスカッションなどの研修交流会を行いました。

参加者からは「キャリアサポーター同士の意見交換ができてとても有意義な時間だった」「業種・職種異なる方々とイノベーションに関する議論ができた」などの声が聞かれ、普段関わることが少ない異業種間での交流を通じて、自身のモチベーションアップにつながる機会となったのではないかと思います。

今後も学生だけでなく社会人同士が交流できる機会も提供していければと思います。

【日 時】

令和3年2月5日(金)

【参加者】

17名(16社)

※うちキャリアサポーター14名

【講 師】

岩井 秀樹 氏(福島大学 経済経営学類 教授)



ACF キャリアサポーター制度運営事務局

学生とキャリアサポーターとの交流会(オンライン)

昨年10月・11月に引き続き、オンライン(定員制/2回開催)にて「学生とキャリアサポーター(社会人)との交流会」を開催しました。今回は「企業・仕事PRタイム」を設け、目前に迫る就職活動の広報解禁を前に学生が企業や仕事をより深く理解できる内容となりました。

参加学生からは「より深く就職について考える機会になった」「視野が広がった」などの声が聞かれ、今後のキャリア選択や就職活動に向けて学びの多い機会になったのではないかと思います。

---第3回---

【日 時】

令和3年2月18日(木)

【参加学生】

9名(福島大学9名)

【参加キャリアサポーター】

18名(15社)



---第4回---

【日 時】

令和3年2月27日(土)

【参加学生】

13名(福島大学11名、東日本国際大学2名)

【参加キャリアサポーター】

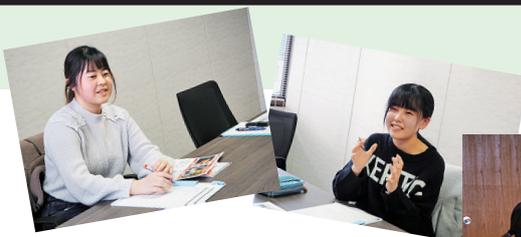
13名(12社)



Career Supporter Interview ①



株式会社福島中央テレビ
経営企画部 次長
小山 高弘さん
(山形県出身/2002年入社)



▶▶▶ 簡単な経歴を教えてください。

2002年に福島中央テレビに入社して、今年で19年目になります。
入社後は報道部の記者を9年、本社営業部で6年、東京支社の営業を1年経て、2018年に現在の経営企画部に異動して今年で3年目になりました。今は採用や社内研修などを担当しています。

▶▶▶ 数あるテレビ局の中で福島中央テレビを選んだ理由は何かですか？

みなさんの期待には沿えないかもしれませんが、実は福島中央テレビにどうしても入社したかったというわけではありませんでした。ローカルテレビ局って魅力的だと思っていたものの、私が入社した2002年当時は就職氷河期と言われる時代で、希望する会社から複数の内定を取れる学生はそんなに多くなかったんです。ローカルテレビ局という括りで就職活動をした結果、今の会社に縁があって入ることができました。

選んだ理由は「たまたま」だったけど、この会社の仕事が自分の思い描いていた通り楽しい仕事だった。そういう意味でも、中テレで良かったなと思います。

▶▶▶ 現在はどんなお仕事をされていますか？

今いる経営企画部というところは、一般的に言えば「総務」と言われるところなので、何にでも対応しなくちゃいけないというのが正直なところなんです。「どの部署がやるんだろう？」と言われるようなことは、経営企画部がやることが多いですね。

もちろん長い目で会社の経営をどうしていくのかを考えるのも仕事で、その一つとしては、新しい人材の確保。今後中テレを担って行く社員を募集して、内定を出して、内定を蹴られずに入社してもらってという難しいミッションがあります(笑)中テレの魅力を学生のみなさんに伝えるために、資料を作ったり、会社説明会をしたり、インターンシップを実施したり、そういうのも経営企画の仕事ですね。

▶▶▶ 福島中央テレビの魅力は何かですか？

地域に貢献したり、人の役に立って、どんな仕事でもできると思うんですけど、中テレの仕事はそれをより身近に感じることが出来る仕事なのかなと思っています。「ふくしまを盛り上げるテレビ」をスローガンにしていますが、「何が仕事ですか？」と聞かれて、「福島を盛り上げるのが仕事です！」って答えても一応成立する。それってなかなかできる事じゃないと思います。

自分のやりたいことは基本的に何でもできる会社でもあります。こんな番組を作りたい、すごく面白いCMを作りたい、イベントを企画して何万人もの人たちを笑顔にしたい、そういうことも頑張ればできる。本当に社員全員が想い続けていれば、「福島を日本一魅力的な地域にする」こともできるんじゃないかな、と。そういうところが中テレの魅力だと思います。

▶▶▶ 仕事のやりがいは何ですか？

福島のためになっているなど、より身近に実感できる場所ですね。報道部で記者をしていた時は、取材相手から「思っていることを代弁してくれてありがとう」って言ってもらえたりするんですよ。苦労されている人や頑張っている人のことを県内に伝えることで感謝されて、それが仕事になるって、やってて本当に良かったなって思うし、やりがいに感じます。

今は採用の仕事をしていて、採用した子たちが会社で活躍してくれる。私は直接的には何もしていないけどやっぱり嬉しいですね。「あいつこの企画やってたよ」って言われると誇らしくなるし、やりがいに感じます。

▶▶▶ 大変なところはどんなところですか？

どの仕事にも言えることなんですけど、任された仕事を最後までやり遂げなくちゃいけない、仕事の完遂を目指してやっていくのはプレッシャーもありますね。今も内定者を全員入社させるミッションを完遂できるかドキドキしているところです(笑)

大変なところって仕事の内容によって違ってくると思っていて、例えば報道記者だと、事件・事故・災害などで被害を受けた方を取材しなくちゃいけない。でもそのニュースを伝えることで、もしかしたら被害を受けた方を救済する策が動き出すかもしれないし、テレビを見た人が防災意識を持つことに繋がるかもしれない。「取材させていただきませんか？」っていう問いは、本当に覚悟を持ってしないといけないことだと思うし、その覚悟を持つことも一つの大変なことなんじゃないかと思います。

▶▶▶ 今後の目標を教えてください。

この2020年を振り返った時に、コロナで色々な社会活動が制限された中で、今だからこそやるべきこと、できることをそれぞれの部署の人間が考えて行動することで、中テレはこの危機を乗り越えたねって言われるようにしたいですね。

私個人としては、採用した社員が10年後、20年後に中テレの中核を担っているのが最高ですね。社内の研修担当もしているんで、中テレがどんどんいい方向に向かっていくような、そういう役に立てればすごく嬉しいなと思います。目標って言われると難しいですけど、会社を良い方向に動かしていくような仕事をしたいですね。

▶▶▶ キャリアサポーター制度にどんなことを期待しますか？

「テレビに興味を持ってもらいたい」ただこの一点ですね。テレビって何の気なしに見てたりするんですけど、とっても面白いし、とってもためになるし、とってもくだらないし、色々な側面を持っている。テレビの嫌な面だけではなくて、実は面白いなって興味を持ってもらえたら嬉しいと思います。

インタビューア

福島大学
経済経営学類 2年
高野さん(左)、
鈴木さん(右)



高野：今回様々な話を伺ったことで、自分の将来について考えるきっかけとなりました。その中でも「自分の仕事にやりがいを持つことが大切」という言葉が印象に残っています。自分が将来社会人になり、不安やギャップを感じた際にはこの言葉を思い出し、仕事に向き合っていきたいです。

鈴木：自分がやりたい事を仕事にされており、自分の仕事にやりがいと誇りを持っている姿が、とても印象的でした。今回お話をくださったことを活かしながら、これからの大学生活や将来について考えていきたいと思いました。

Career Supporter Interview ②



株式会社タンガロイ
総務部 人事総務グループ
武田 慶彦さん
(福島県出身/2018年入社)



▶▶▶ 簡単な経歴を教えてください。

福島県出身で、大学は県外に進学しました。卒業後は福島に戻ろうと思い、県内の地方銀行に就職しました。4年半程勤務した後、ご縁があって切削工具メーカーのタンガロイに中途入社し、今年で3年目になります。

▶▶▶ タンガロイに入社した理由・きっかけを教えてください。

もともとタンガロイという社名は知っていましたが、詳しい事業内容までは知りませんでした。転職活動を通して情報収集をしていく中で、「タンガロイは凄く良い会社だ」という評判も度々耳にしていたので、受けてみようと思いましたね。ちょうど求人も出ていたので、タイミングが良かったなと思います。

実は最初、別の職種で応募したんですよね。選考が進み、最終面接で「総務の採用担当のポジションに空きがあるけど、興味ある？」って聞かれて…。「御社に魅力を感じているので職種に拘りはありません！興味あります！」という回答をしたら、本当に採用関係の仕事をする事になりました(笑)

想定外ではありましたが、やりたいと思ってもできる仕事ではないですし、チャンスだなと思いましたね。実際にやってみて凄く面白い仕事なので、総務で良かったなと思いますね。

▶▶▶ 現在はどんなお仕事をされていますか？

新卒採用担当として、全国の大学生にタンガロイの魅力を発信しています。採用計画の立案から、インターンシップの企画・実施、全国の大学訪問、工場見学対応、選考管理などを行っています。また、昨年には新入社員教育も担当しており、社会人としての基礎となるビジネスマナーや心構えを教えています。

▶▶▶ タンガロイの魅力は何ですか？

若手がチャレンジできる環境だと思います。タンガロイの工具は、自動車・電車・飛行機などのあらゆる工業製品を作る際に必要不可欠なキーマイテムです。技術職は若手社員のうちから工具のメイン開発を担当し、自分のアイデアを投入できるので、その点を魅力に感じて入社する学生さんが多いです。技術職に限らずどんどんチャレンジさせてくれる環境なので、主体的に仕事を進めていきたい人にはとても合っていると思います。

▶▶▶ 入社前と入社後のギャップはありましたか？

正直なところ、採用担当は「楽な仕事」だと思っていましたね。タンガロイは本当に良い会社なのですが、いかんせん知名度が無い。いかに訴求して良い学生を集めていくかという戦略を日々練らないといけないので、そこは想像と全く違いましたね。まあそのあたりも含めて楽しい仕事だと感じています。

工場がとても綺麗というのもギャップの1つです。実際に工場を見学してみると、製造業のイメージがガラッと変わりました。「百聞は一見に如かず」なので、ぜひ学生さんにも見学に来ていただきたいと思います。

▶▶▶ 仕事の大変なところはどんなところですか？

日々変わる環境の中で、良い学生を継続して採用していくのは本当に大変だと思います。採用で競合するのは大手企業ばかりなので、企業情報や募集要項などの事実だけではなく、実際の社員の仕事状況などをいかに魅力的に伝えるか、いかにタンガロイで働きたいと思ってもらえるかを常に考えるようにしています。

▶▶▶ 仕事のやりがいは何ですか？

前職での経験も踏まえ「企業の良し悪しは人で決まる」ということを実感していますので、これからのタンガロイを担っていく人材の採用・教育に携わっていけるということはやりがいいですね。弊社の採用コンセプトは顔と名前が一致する採用活動です。ファーストコンタクトから入社までの出来事もひとりひとり鮮明に記憶していますので、そんな子たちが成長していく様子を見られるのはとても良いものだなと思いますね。

▶▶▶ 今後の目標を教えてください。

まずは、人材の採用・教育を通して会社に貢献し続けていきたいです。私は技術系職種ではないので、新製品を開発したり、特許を出願したりということはできません。でもそれができる優秀な人材を集めることはできます。採用ブランディングを意識しながら、優秀な学生がどんどん押し寄せる仕組みを構築していきたいですね。中長期的には、自分が採用した子たちが気持ちよく働けるような環境づくりにも取り組みたいと思っています。

▶▶▶ 学生時代はどのように過ごしていましたか？

遊んでばかりいました。冗談です(笑) 勉強・バイト・サークルなどそれなりに一生懸命やっていたけど、一番印象に残っているのはボランティアです。住んでいたところの近くに、原発地域から避難されてきた方が沢山いました。同じ福島県民として、何かできないかなと思って。小学生が多かったので「みんなで勉強しよう！」って企画を立ち上げて、週に2、3回くらい宿題を見てあげていました。教える人がいなかったの、人集めもしましたね。私自身、教職課程を履修していたので、教員志望の友人に「教えてみない？」って声をかけて。大学にプレゼンして予算もいただいていた。自分で言うのもなんですけど、立派なことをしてましたね(笑)

▶▶▶ 学生に向けてアドバイスをお願いします。

自分が今後生きていく中で、何を重視したいか・優先事項は何かを考えておくのと良いと思います。もちろん価値観は変わっていきますが、平日頃からそういうことを考えておくのと人生の岐路に立った時に役に立つと思いますね。

就職に関しては、とにかく早めに動いて準備をしておく。あとは情報が集まってくるキャリアセンターをどんどん利用した方が良いと思います。活動は自分で進めていくことが前提ですけど、大人の意見も必ず聞いた方が良いでしょう。大手と遜色ない地元優良企業も沢山ありますから、そういった所にもぜひ目を向けて欲しいと思います。

▶▶▶ キャリアサポーター制度にどんなことを期待しますか？

これからも学生と接点を作る場を設けていただくと非常に助かります。キャリアサポーター制度のイベントは学生と気軽に話せるので、普段聞けない学生の本音も聞けます。自分の仕事に直結するヒントが得られるので、とても勉強になります。



Career Supporter Message



CS No.415
福島日産自動車(株)
 採用・育成部 部長
渡辺 千佐子
 (わたなべ ちさこ)

10月拜命を受け採用担当となりました。一度も経験がない私ですが、学生のみなさんとお話する機会を増やしサポートをする上で、満足のいく就職活動の手助けになればと思っています。



CS No.175
リコージャパン(株)
 福島支社 郡山北営業所
 エリア営業
桑野 隆裕
 (くわの たかひろ)

私はリコージャパン株式会社に営業の仕事をしています。お客様のオフィスの業務改善につながる提案をしています。
 就職活動は多くの会社を知ることができるチャンスです。興味のある業界はもちろん、幅広く調べてみることをお勧めします。充実した就職活動ができるよう応援しています。



CS No.413
福島県信用保証協会
 総務部 総務企画課
谷ヶ城 愛
 (やがしろ あい)

就職活動分らないことがたくさんあると思います。キャリアサポーターとして学生のみなさんの悩みや不安を少しでも解消できるように頑張りたいと思います。どんな些細なことでもいいので気軽に相談してください！



CS No.334
(税) ケーエフエス / (株) ケーエフエス
 総務課 採用担当 / システム担当
遠藤 聡美
 (えんどう さとみ)

就活市場はここ1年で大きく変動しましたね。「何をすればいいかわからない…」不安や悩みはありませんか？そんな時は、現役の社会人の声を聞いてみましょう！採用担当として持っているリアルな情報をお届けします。
 就活の方法は人それぞれ違います。正解はありませんので、一緒に自分のスタイルを探していきましょう！



CS No.269
ソニー生命保険(株)
 郡山支社
 ライフプランナー
金澤 拓哉
 (かなざわ たくや)

皆さんは、「働く」ことは楽しみですか？それとも不安ですか？
 「働く」ということは、人生の中で大きなウェイトを占める要素です。
 皆さんの想いを聞きながら、「働く」ことが楽しくなるようなコツをお伝えします！



CS No.140
東陽電気工事(株)
 総務部
我妻 佐知子
 (あづま さちこ)

子育てもひと段落し、日々楽しく仕事をしている私ですが、皆さんが楽しく明るい未来に向かっていくために、そして皆さんの将来についての想いを形にするためにサポートしていきたいと思っています。キャリアサポーターとの交流の中で、今までの皆さんの学生の経験と新しい知識やスキルアップをして未来への可能性を広げて欲しいと思います。

Date

月	日	事業名	主催機関
10	16 (fri)	第14回キャリアサポーター初任者研修会 [オンライン]	ACFキャリアサポーター制度運営事務局
11	5 (thu)	1dayインターンシップ [オンライン]	東日本国際大学
	1 (tue)	業界・企業研究セミナー	桜の聖母短期大学
	3 (thu)	1dayインターンシップ [オンライン]	東日本国際大学
12	15 (tue)	業界・企業研究セミナー	桜の聖母短期大学
	17 (thu)	1dayインターンシップ [オンライン]	東日本国際大学
	22 (tue)	業界・企業研究セミナー	桜の聖母短期大学
	5 (fri)	令和2年度 キャリアサポーター交流会	ACFキャリアサポーター制度運営事務局
2	18 (thu)	学生とキャリアサポーター(社会人)との交流会 [オンライン]	ACFキャリアサポーター制度運営事務局
	27 (sat)	学生とキャリアサポーター(社会人)との交流会 [オンライン]	ACFキャリアサポーター制度運営事務局
3	—	「キャリアサポーター通信」 Vol.2 発行	ACFキャリアサポーター制度運営事務局



ACFキャリアサポーター制度運営事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

TEL : 024-504-2889

MAIL : cocplus@adb.fukushima-u.ac.jp



福島県委託

「ふくしまの大学生等

県内定着促進事業」